

RCV

No.

73

Red Cross Volunteer 2019. 10.



Contents

日本とインドネシアをつなぐ
～グローバルにゴミ問題を考える～

学生赤十字奉仕団

×

青少年赤十字メンバー

日本とインドネシアをつなぐ ～グローバルにゴミ問題を考える～

2019年2月、Wakayama ASEAN Project学生赤十字奉仕団は小学校でインドネシアのゴミ問題についての授業を行いました。自分達で何をすべきか考え、企画し、工夫しながら実施にいたったその姿に注目しました！



なぜインドネシアのゴミ問題なのか？

Wakayama ASEAN Project学生赤十字奉仕団は、和歌山大学の学生が団員となっています。奉仕団として活動を始める前から、学生が取り組んでいた「**インドネシアのゴミ集積地区を拠点とした教育支援**」。インドネシアの現地で年2回活動していましたが、それだけではなく、日本でもインドネシアのゴミ問題を伝えたい！と考えました。

「学生赤十字奉仕団×青少年赤十字メンバー」というコラボで、その思いを実現しました。



普段の活動は？

NHK海外たすけあい募金



募金活動もグローバルに！

赤十字国際交流事業



マレーシア赤新月社の子ども達と英語力を活かして交流！

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター



研修会のグループワークのお手伝い

他の学生赤十字奉仕団と同じように、様々な活動をしているガー！

インドネシアでの教育支援

ジャカルタからのゴミが集積されるBantarGebang地区。そのゴミ集積地区唯一の教育機関「アルファラー」において授業を行うなど、様々な教育支援を行っています。



創造力を豊かにするアート企画



責任感や自主性を育む菜園企画



↑ゴミ集積地区に住む子ども
←ゴミがそこら中に！



01 企画

気づき

年2度の海外での活動だけでなく、日本でも海外のゴミ問題の現状伝えたい！



←インドネシアの学校での教育支援の様子

考え

そのためには、伝えたい相手との関係性の構築が必要。

実行する

和歌山県支部に相談。青少年赤十字加盟校の大新小学校における授業の実施が決定！

まさしく、青少年赤十字の態度目標※の実践の力がミ！

※子ども達の主体性を育むための態度目標「気づき・考え・実行する」のこと。

02 実施まで

企画成功の秘訣をご紹介します！

👍自分が楽しむ！

ボランティアは真面目にやっているだけでは、しんどくて続かない。仲間とコミュニケーションをとり、親睦や絆を深めることが大切！

👍顔をあわせる！

1人で考えるより、みんなで考えたほうがどんどん進んでいく！週に1度は集まり、その結果は全員へ共有。参加できなかった人もコメントなどの反応を必ずする。

👍役割をもつ！

小さなことでもメンバー全員が役割を持つ。責任感を持つことができ、自分がいることでグループが成り立っているというモチベーションがUP↑



ピザパーティーをすることも！



↑実施に向けて模擬授業も行いました！

03 授業当日

4年生の授業

① インドネシアの現状を知る

どんな国でどんなゴミがあるのか？ゴミ山が出来てしまうのは、「ゴミ焼却所がないこと」が原因！



② 日本の現状と比較しながら、Q&A

日本はゴミ焼却所が最も多い！しかし、ゴミを燃やすことは、ゴミ問題の根本的解決にはならないことを知る。



みんなにできることは何かな？考えてみよう！

③ ゴミを減らすために何ができるか考える ④ リサイクルの大切さ



食べ残しはしない！エコバッグを使う！いらぬ物は買わない！



ゴミとなったペットボトルで、プレスレット作り。リサイクルは、ゴミを減らす1つの手段！

04 感想



どこの国の子どももクイズの反応、見せてくれる笑顔が一緒！



自分達の企画を実行に移すことは本当に難しかったが、成功例になった！



子どもの知る世界を広げられたし特別授業のワクワクを伝えられた！



小学生からも学ぶことが多かった！



授業ではツカミを意識！1年がかりのプロジェクトに責任を感じたがやり遂げられてよかった。



子どもたちは非常にまじめで熱心で純粋でとても感動した！



グローバルな視点で目の前のことに取り組む。そのいい例になった！

子ども達の感想

ゴミ問題は、みんなの問題だと思った！一人ひとりが意識することが大切！私もお兄さんお姉さん達みたいに人を助けたい！



いざ！インドネシアへ



授業から7ヵ月後、WAP学生赤十字奉仕団メンバーは支援しているインドネシアの学校へ赴き、大新小学校の子どもたちが作ったブレスレットを届けました！



↑ 日本での授業の様子を伝えました。



↑ ブレスレットを先生に渡しました。

メンバーの感想

子ども達がとても笑顔で喜んでくれ、その笑顔が見れてよかった！



すごい～！

この企画を行った意味をインドネシアの子ども達にも伝えることができよかった！

今後も国内外に目を向け、グローバルに活動を続けていきます！



かっこいい！うれしい！



みなさんの声 大募集

RCVでは、全国のボランティアの活動のヒントとなるような、優良活動を紹介しています。

よりよい情報誌を作っていくために、日頃から活動しているみなさんからのご意見を、ぜひお聞かせください！

① **今号の特集へのご意見・ご感想**

② **こんな特集が見たい！**

「こんな活動がしたい！どこかでしていないかな」。知りたい活動はありませんか？

③ **活動を全国に伝えたい！**

掲載したい活動がありましたら、ぜひお知らせください。

④ **今号から、RCVをメール配信しています！次号からの配信をご希望の方は送信先のメールアドレスをご記載ください。**

受信されるメールアドレスのサーバー容量によっては、データを受信できない場合がございます。また、閲覧される媒体によっては、閲覧ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。※パソコン/スマートフォンによる閲覧を推奨。

⑤ **ご意見をいただいた中から、抽選で赤十字グッズをプレゼントします。プレゼントにご応募される方は、メールアドレスを記載してください。当選された方に、ご連絡差し上げます。**

上記をご記入のうえ、

rc-volunteer@jrc.or.jp までお送りください

こちらからも一
ご回答いただけます！



赤十字ボランティアへの参加について

日本赤十字社の活動は、全国のボランティアによって支えられています。あなたも、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを行動に移してみませんか？

赤十字ボランティアへの参加は、日本赤十字社各都道府県支部・施設で受け付けています。

WEBページで

赤十字 ボランティア

検索



Facebook
Twitter

でも逐次情報を更新しています！

○編集・発行
日本赤十字社 事業局 パートナースHIP推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課
電話：03-3437-7083 (ダイヤルイン)
ホームページ：http://www.jrc.or.jp/volunteer